

## 年度主題「勝利を得る者」

### 今回の説教題「妥協する教会」

### 副題「証しながら戦っている教会」

### 聖書 黙示録 2：12～17

序 アジアでの最も有力な都市の一つであったペルガモ（ペルガウム）は、小アジアの西部に位置し、スミルナの北、地中海から32キロにあった。裕福な町で、偶像崇拜（アテナ、アスクレピオス、ディオニュソス、ゼウスなど）に捧げられた多くの神殿があり、像や祭壇、神聖な木立で満ちていた。重要な宗教的中心地であった。特にアスクレピオス神殿には、蛇の偶像があり、「サタンの王座」とも呼ばれた。同時に文化的都市であり、20万冊の蔵書を誇る図書館があり、これは後にアントニウスからクレオパトラに対する贈り物としてエジプトに送られた。産物には、羊皮紙があり、ペルガメナと呼ばれていた。

## 1 偶像崇拜の中心地にあった教会 2：12

ペルガモの町では、ゼウスが全世界の支配者であり、アスクレピオスが救い主であり、蛇が神聖な動物として崇められていました。この町にイエス・キリストの教会が建てられたのです。AD316年に、ローマの皇帝コンスタンチヌスによって、キリスト教が国の宗教として承認され迫害は止まりましたが結局教会は国家と結びつき、妥協し、墮落したのです。

## 2 イエス・キリストの称賛と叱責 2：13～16

### 1) 称賛

- ・ペルガモの宗教的環境に生きることは「至難の業」であった。
- ・わたしの名を堅く保った。
- ・アンテパスの殉教にも、信仰を捨てなかった。

マルトウス（ギ語・証人）とは、マター（ギ語から英語 殉教者）である。

### 2) 叱責

- ・バラムの教え（民22：1～24：25）・・・偶像崇拜と不道德の組み合わせ
- ・ニコライ派の教え・・・ニコラウスはアンテオケの改宗者であった（使徒6：

5) が正統派の信仰を離れて、自由な身となったクリスチャンは、勝手気ままにどんな生活をしていても良いと教えた。

・鋭い悔い改め

### 3 勝利を得る者への約束 2 : 17

1) 隠されているマナ・・・天よりのいのちのパン・イエス・キリストご自身  
荒野の旅路中、神による供給がなされたように、イエス・キリストに与る事である。

2) 新しい名が記された白い石・・・「新しい」、「白い」という表現は黙示録独特である。

ギ語でカインス、天国に相応しい輝く新しい人格、品性、いのちであり、名は OT  
では、アブ

ラムがアブラハムへ、ヤコブがイスラエルと変えられたように、新しい立場の付与  
である。